

平成31年度 基本施策評価表

所属 37200000

教育部 学校教育課

政策	51 学校教育の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民、保護者等						
施策が目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・多彩な教育プログラムの導入により「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた学校教育の推進を図る。 ・充実した学校教育を支える教育体制や学校施設の確保、教育環境の均等を保つ学校の適正配置を進める。 ・地域社会が一体となった総合的な教育環境の充実を図る。 						
成果指標	保護者の学校教育に対する満足度・・・5年間で90%（現状値87.4%）						
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標1 [%]	予定	88.00	88.50	89.00	89.50	90.00
		実績	88.20	88.60			
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	4,351,987	4,105,814	5,788,054	0	0	
	実績	3,775,180	3,759,426	5,788,054	0	0	
内部評価	貢献度	基本方針が目指す「健やかに人を育み学び続けられるまちづくり」には、学校教育の充実は必要不可欠であり、本施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	本施策の指標「保護者の学校教育に対する満足度」は、目標値を達成しており、各単位施策は、災害等の影響により一部目標が未達となっている。					
	課題	単位施策の目標未達については、一部に災害等の影響があるものの、学習や体力向上への指導の改善、不登校対策などについては、課題の把握と検証を行う必要がある。					
	取組方針	本市の学校教育の充実に向けて、保護者の満足度だけでなく子どもたちが自ら進んで学べる環境づくりを進めるため、地域との連携を図り調和のとれた学校教育を推進する。					
外部評価	<p>成果指標である「保護者の学校教育に対する満足度」については、アンケートの内容などにより高い評価になる場合があることや、教員や教育委員会、市役所等いろいろな角度からの評価が必要と考えられるので、アンケート手法の見直しを検討してほしい。</p> <p>学力・体力ともにH30年度に続き全国を下回り目標に達していないが、向上を図る仕組みが整っていない。早急に明確な仕組みを整える必要がある。</p> <p>小中一貫教育については、第一期が終了したが、地域の実情に応じた適切な目標を設定することが課題とあるが、スピード感が感じられない。</p> <p>老朽化した施設の現状を保護者に見ていただき、修繕の判断を検討するのもよいのではないか。</p>						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称			トータルコスト(千円)	達成度	
	5103	魅力ある教育環境の充実			2,186,428	100	
	5102	豊かな心及び健やかな体の育成			1,562,083	98	
	5104	一貫性のある教育の充実			4,500	85	
	5101	確かな学力の育成			319,319	80	

基本施策評価表 補表

施策	51 学校教育の充実		
区分	妥当性	妥当	基本方針が目指す「将来を担う心身ともに健やかな人材の育成」には、義務教育である学校教育の充実は必要不可欠であり、当該基本施策の実施は妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業の実施方法等を工夫改善することにより、コスト削減を図る余地がある。
	受益者負担	適正	本施策は、事業内容により適正な負担を求めている。
	上位貢献度	有効	将来を担う人材の育成には、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成する学校教育の充実は、貢献度が高い。
	類似事業の有無	無	他の類する事業はなく、代替は困難である。
	成果向上の余地	有	学校・家庭・地域との連携・協働による学校教育を推進することにより、成果向上を図ることができる。
内部評価	貢献度	将来を担う子どもたちの「生きる力」として、基礎的な学力、心身の健康、地域への愛着や誇り等を育むため、教育環境の整備、学校教育を支えるための教育体制の充実を推進する本施策の貢献度は高い。	
	達成状況	保護者の学校教育に対する満足度は、目標値を上回ることができた。台風災害やコロナウィルスの影響により単位施策の一部が目標未達となっており、成果指標や目標値の見直しも検討しなければならない状況となっている。	
	課題	全国学力・学習状況調査において、全国平均正答率とほぼ同程度であったことから、学習指導方法の改善・教職員の資質向上を図る必要がある。 新体力テストにおいては、小学生の数値が全国平均を下回る種目が多いことから、日常的な体力向上の取組が課題である。	
	取組方針	学力・学習状況調査の結果の分析と指導方法の工夫改善を進められるよう、指導主事による指導訪問等を通して、授業研修会を活性化し、教職員の資質向上を図る。小学生の日常的な体力向上を図るため、体育主任研修会を通じて、体育授業の工夫改善の取組を行う。基本施策の成果指標である保護者の満足度は一定の成果をあげているものの、子どもたちが進んで学べる心を育むことも重要であり、次期総合計画に向けて新たな成果指標を検討したい。	